

彼は権力ある者をその座から引き降ろし
低い者を高く上げる (ルカ1章52節)

—マリアの賛歌に見る伝統と革新の相互作用—



Magnificat aia
mea dnm

su.
epo sunt potentes
de sede: et exaltauit hu
miles.
surrexerunt imple

日本聖書協会は国内で聖書頒布を開始してから今年で150年を迎えます。これを記念して、ドイツの新約聖書学者ペトラ・フォン・ゲミュンデン氏をお招きし、講演会を開催いたします。

マリアの賛歌（マニフィカト）は、どのような点で旧約聖書の伝統にあり、どこが新しいのか、またそれがどのようにルカによる福音書に組み込まれ、そして16世紀のマルティン・ルター以降、どう新たに解釈され、受容されてきたのか、今日、聖書をひもとく私たちにも示唆に富むお話をさせていただきます。

2025年 **6/14** (土)

13:30~15:00 (開場13:00)

立教大学池袋キャンパス

太刀川記念館3階カンファレンスルーム

東京都豊島区西池袋3丁目34-1

定員 150名

↓お申し込みはこちら

入場無料



問合せ

日本聖書協会

E-mail: info2@bible.or.jp

講師

ペトラ・フォン・ゲミュンデン 氏

アウクスブルク大学名誉教授

ペトラ・フォン・ゲミュンデン氏

アウクスブルク大学名誉教授

1957年生まれ。1989年、ハイデルベルク大学神学部にて博士号を取得。ペーテル神学大学助手、ジュネーブ大学プロテスタント神学部教授を務めた後、2002年にアウクスブルク大学プロテスタント神学部教授(2024年退官)。

著書: Vegetationsmetaphorik im Neuen Testament und seiner Umwelt. Eine Bildfelduntersuchung, Göttingen 1993; Affekt und Glaube. Studien zur Historischen Psychologie des Frühjudentums und Urchristentums, Göttingen 2009.

共編著: Picturing the New Testament - Studies in Ancient Visual Images, Tübingen 2005; Erkennen und Erleben. Beiträge zur psychologischen Erforschung des frühen Christentums, Gütersloh 2007; Der Römerbrief. Rechenschaft eines Reformators, Göttingen 2016 など。

講演邦訳: 「パウロが持っていた死への恐れ」「ヨハネ福音書における不安と攻撃への対処」『国際聖書フォーラム2012 講義録』(日本聖書協会、2012)、『ヘルマスの牧者』におけるὀργη(憤怒)を例にとった方法論的および内容的な諸問題『聖書学論集』50号(2019)、「パウロにおける苦しみとその克服」『苦難と救済』(教文館、2020) など。



会場 立教大学池袋キャンパス

太刀川記念館3階

カンファレンスルーム

東京都豊島区西池袋3丁目34-1

交通案内

JR 山手線・埼京線・高崎線・東北本線・東武東上線・西武池袋線・地下鉄丸ノ内線・有楽町線「池袋駅」下車。西口より徒歩約10分。

日本聖書協会150年記念講演会 出席申込書

■ 出席者 名 2025年 月 日

代表者 (フリガナ)		所属団体 (フリガナ)	
出席者 (フリガナ)		出席者 (フリガナ)	出席者 (フリガナ)
ご住所 (代表者のみで可) 〒			
学校・自宅・教会・団体 (○で囲んでください)			
電話番号	FAX		※折り返し受付完了のご連絡を差し上げます。必ずお書きください。

※出席者が4名以上の場合は、別紙に全員のお名前をお書きの上、FAXでお送りください。
 ※メール (info2@bible.or.jp) で申し込みの場合は、上記内容をメールにてお送りください。

FAX 03-3567-4436